

# 新聞新賣讀

発行所  
読売新聞大阪本社  
第19092号

〒530-8551  
大阪市北区野崎町5-9  
電話 (06) 6361-1111 (代)  
<http://www.yomiuri.co.jp/>

2006年(平成18年) 3月15日 水曜日

(37) 社会 14版

竹から抽出したエキスに、  
感染性胃腸炎の原因となるノ  
ロウイルスを死滅させる作用  
があることが、大阪府立公衆  
衛生研究所の実験でわかつ  
た。手洗いでも使える無害な  
消毒方法がなく、府は「人体  
に安全で、感染の拡大防止に  
つながる切り札」として、食  
品への添加や消毒剤としての  
活用法を検討している。

## ノロウイルスに 竹エキス威力



大阪府公衆衛生研

府によると、粉末にしたモ  
ウソウチクの表皮をアルコー  
ルにつけ、染み出したエキス  
で、同研究所がノロウイルス  
に混ぜたところ、30秒後にほ  
んど感染力を失い、5分間  
でウイルスが死滅した、とし  
ている。エキスはこれまでの  
実験で、病原性大腸菌O157  
7の殺菌作用が確認されてい  
たという。

1832号



発行所 環境新聞社

東京本社 ☎(03)3359-5371  
〒160-0004 FAX(03)3351-1939  
東京都新宿区四谷3-1-3  
(第1富澤ビル)

大阪支社 ☎(06)6252-5895  
〒541-0054 FAX(06)6252-5896  
大阪市中央区南本町3-4-8  
九州支局 ☎(092)811-7008  
〒814-0176

福岡市早良区四箇田団地4棟114号  
振替口座 00150-5-20286  
年間購読料 25,200円(税込み)

©環境新聞社 2006

## The Environmental News

# 竹抽出物がノロウイルスに不活性化効果

近畿竹資源コンソーシアムが確認

竹資源の有効活用・事業化を目指す「近畿竹資源有効活用コンソーシアム」(代表・切畑光統大)の竹エ

キス作業部会はこのほど、企業メンバーであるフードテックス(大阪府吹田市、清岡久幸社長)の竹抽出物がノロウイルスに対して、その働きを失わせる不活性化効果があるとする試験結果を発表した。食品添加物用に開発されたもので安全性も高く、スプレー噴霧などで食品や人体への消費も可能なため広範な利用が期待される。

衛生研究所に検査を依頼。ノロウイルスの代替であるネコカリシウイルスで評価を行った。ネコカリシウイルスF9株に同竹抽出物を混和すると三〇秒後にウイルスは三乗以下に減少、五分以内に完全に不活性化効果が確認されたという。

ノロウイルスへの感染対策は煮沸や次亜塩素酸ナトリウムなどが有効だが、現実的な消費は困難で、作業現場でもノロウイルスに効果的なエタンール製剤の導入が要望されていた。

# 食品化学新聞

発行所 食品化学新聞社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-1

昭文館ビル

電話：03-3238-7818(代)

FAX：03-3238-7898

振替口座 東京：00140-5-17557

(購読料6カ月前納) 税込価格 17,640円

<http://www.foodchemicalnews.co.jp>

(第2128号)

食品化学新聞

2006年(平成18年)3月16日

(8)

## フードテックス ノロウイルスを不活化 チモウソウ 抽出物の効果確認

フードテックス(大阪府吹田市、清岡久幸社長)が製造・販売するチモウソウチク抽出物を配合したアルコール製剤「タケックス・クリーン」が、ノロウイルスに対して不活性化効果を示すことが、大阪府立公衆衛生研究所により確認された。

試験は、ノロウイルスの代替であるカリシウイルス科ベジウイルス属ネコカリシウイルスF9株を使用し、チモウソウチク抽出物製剤がウイルスを減少させるかを評価した。この結果、ネコカリシウイルスにチモウソウチク抽出物製剤を混和

すると30秒後には3乗以下に減少し、5分後には不活性化効果が確認された。試験は、同社が所属する近畿竹資源有効活用コンソーシアムが大阪府立公衆衛生研究所に依頼した。ノロウイルスは塩化ベンザルコニウム、逆性石鹼、

エタノールに対して抵抗性が強く、現状では煮沸消毒や次亜塩素酸ナトリウムが有効とされている。しかし、手指には使用できず、施設や設備には腐蝕や作業性といった問題がある。同社は食品や手指、施設、設備に幅広く使用できるため、ノロウイルスを原因とする集団食中毒対策への利用に期待されている。なお、タケックス・クリーンは500ml、5ℓ、18ℓの3タイプを取り揃えている。